



Prancing for a Purpose

21世紀の今も存在する「自由を奪われた人」に光を！

「奴隷制度撲滅」を訴え、現役教師が踊りながらアメリカ横断へ

1人の男性が、米国の有名な旧国道「ルート66」の踏破に挑んでいる。

派手な黄色のヘッドバンドにバレエの衣装を身にまとい、生活用品を入れたベビーカーを引きながら、

激しく踊るそのエキセントリックな姿は、いやが応でも道行く人たちの注目を集める。

一見、奇矯とも思われる行為だが、実はその目的は、現代の奴隷制度撲滅のための資金集めという真剣なものだ。

本誌ウェブサイトでは、ニュース映像の視聴やPDFファイルのダウンロードができます。詳細は別冊付録の裏表紙をご覧ください



シリアル・パニエ記者の
発音と話し方の特徴

アメリカ英語

速さ：★★★★

発音：★★★★

語彙：★★★★

総合：★★★★

★聞き取りやすい ↔ ★★★★★ 難しい

パニエ記者の英語は、欧州系（主にフランス語・イギリス英語）の影響がわずかに薫るアメリカ英語ベースの英語。少しミックスされた発音ながらも、ややゆっくりのスピードで丁寧な滑舌は、英語学習者の耳に優しい。



キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう

☐ slavery

[sléivəri]

奴隷の境遇、奴隷制度

☐ leg

[léj]

（旅行などの）部分、区間

☐ blare

[bléar]

～を大音量で鳴らす

☐ eclectic

[ikléktik]

〈趣味などが〉幅広い、多彩な

☐ sport

[spó:rt]

～を身につける、着こなす

☐ human trafficking

[tráfíkiŋ]

人身売買

☐ feat

[fi:t]

偉業、離れ業

☐ log

[lóg]

（ある距離を）進む、進行する

☐ strenuous

[strénjuəs]

多大な努力を要する

☐ prance

[práns]

誇らしげに意気揚々と歩く

33

マッシュアップ ゆづり
34 39

「現代の奴隷制」撲滅のために踊り歩く

ゆっくりスピード(ポーズ入り)
の発音はアメリカ英語です

A London man is taking his fight against modern-day slavery to the streets of America.// He's on the second leg of his journey/ to dance across the famous Route 66 highway through eight states.// It's all to raise money for Anti-Slavery International,/ and he's sharing his journey with the CNN Freedom Project.// Cyril Vanier has the story.//

* * *

1. Blaring an eclectic mix of music,/ sporting a neon-yellow headband and tutu,/ Ben Hammond is a sight to behold,/ boogieing along one of America's biggest roadways.// With each hop and twist,/ the self-proclaimed Planet Prancer is raising funds for Anti-Slavery International,/ an organization 2. fighting human trafficking around the globe.//



派手に踊りながらルート66を進むベン・ハモンドさん。目的は、現代の奴隷をなくすための資金集めだ

modern-day:

現代の

slavery:

奴隷の境遇、奴隷制度

leg:

(旅行などの) 部分、区間

Route 66:

ルート66、旧国道66号線
▶アメリカ中西部のイリノイ州シカゴから西海岸のカリフォルニア州サンタモニカまで8州にまたがる全長約3700キロの旧国道。R&Bのスタンダード曲「ルート66」に歌われるなど、アメリカの「マザー・ロード」としてポップ・カルチャーにも数多く登場する。州間高速道路が発達した影響で1985年に国道としては廃線。

raise money:

資金を集める

Anti-Slavery International:

反奴隷制度インターナショナル ▶p.57「ニュースの知識と読み方」参照。

CNN Freedom Project:

▶現代の奴隷制撲滅のためにCNNが取材・報道を通じて行っているプロジェクト。

blare:

～を大音量で鳴らす

eclectic:

〈趣味などが〉幅広い、多彩な

sport:

～を身につける、着こなす

neon-:

蛍光…

tutu:

チュチュ ▶バレリーナ用のひらひらしたスカート。

a sight to behold:

目を見張るもの

boogie:

(ロックやポップスに合わせてノリノリで) 踊る、ダンスする

self-proclaimed:

自称～

prancer:

誇らしげに意気揚々と歩く人

human trafficking:

人身売買

ニュース1では、スラッシュリーディングおよびスラッシュリーディングの参考として、情報・意味のまとまりごとにスラッシュ(/)を入れています

ロンドンのある男性が、「現代の奴隷制」をなくすための闘いをアメリカの路上に持ち込んでいます。// 彼はその行脚の第2行程の最中で/ 有名なルート66を踊りながら進み8州を踏破するのです。// すべては「反奴隷制度インターナショナル」の資金集めのためです/ 彼はこの行脚の様子を「CNNフリーダム・プロジェクト」でも公開してくれています。// シリル・バニエ記者がお伝えします。//

* * *

多彩なジャンルの音楽を大音量で鳴らし/ 蛍光黄色のヘッドバンドとチュチュを身につけて/ ベン・ハモンドさんは人々の目を奪いながら/ アメリカ最大の車道の一つを踊りながら進みます。// ホップやツイストをするたびに/ 自称「プラネット・プランサー」は「反奴隷制度インターナショナル」のために資金を募っているのです/ それは世界中の人身売買と闘う組織です。//

理解のポイント

≫ ① の Blaring...music, sporting...tutu, boogieing...roadways はすべて分詞構文。わかりやすく書き換えると、Ben Hammond is a sight to behold as he boogies along one of America's biggest roadways, because he blares an eclectic mix of music and sports a neon-yellow headband and tutu などとなる。

≫ ② の fighting は現在分詞。fighting 以下は、後ろから an organization を修飾している。